ネビューシア・アラバメンシス

A.Gray

バラ目 バラ科 モモ（サクラ）亜科

アメリカ南東部の非常に限られた地域に自生する落葉潅木で、ヤマブキやシロヤマブキに近縁。花弁がなく、代わりに雄しべが白く目立つ。

野生の個体も含めて、現存する全個体が同一クローンで、自家不和合性のため種子をつけることがない。すでに野生絶滅した***Franklinia*** などと同様に絶滅の一歩手前で、栽培下でのみ生き延びていく植物。

1858年の記載以来長く1属1種であったが、1992年に***N. cliftonii*** がカリフォルニア州で発見された。この種も野生では似た状況だが、種子はつけることがある。

原産地・分布: アメリカ南東部（限定的）

個体番号: 2012P-0007_1
導入元: 花卉研究室; 導入時の名前: Neviusia alabamensis; 導入日: 2012-11-14; 由来: 栽培; 導入形態: 植物（株の詳細なし）; 備考: 1981P-0006_1の吸枝。

Plant ID: 1078

千葉大学大学院園芸学研究科 2024-12-23